

一般社団法人 2010 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2010 年 12 月 4 日（土）13：00-17：00

会 場：科学技術館 第一会議室（事務棟 6 階）（東京都千代田区北の丸公園 2-1）

出席役員 理事：宮下純夫（代表理事） 渡部芳夫 天野一男 安藤寿男 石渡 明
伊藤谷生（16 時出席） 井龍康文 上砂正一 永広昌之 小山内康人 北原哲
郎 小嶋 智 斎藤 眞 坂口有人 佐々木和彦 高木秀雄 高橋正樹 竹
内 誠 田近 淳 田村嘉之 内藤一樹 中井 均 楡井 久（15 時出席）
平田大二 福富幹男（15 時退出） 藤林紀枝 藤本光一郎 星 博幸 保柳康
一 松岡 篤 向山 栄 矢島道子 山口耕生 山田泰広 以上 34 名

欠席役員 理事：太田泰弘 奥平敬元 狩野彰宏 紺谷吉弘 榊原正幸 柴 正博
芝川明義 竹下 徹 西 弘嗣 久田健一郎 松田博貴 松原典孝 村田明
広 林 愛明 脇田浩二 以上 15 名，監事：青野道夫 山本正司 以上 2 名
その他出席者 オブザーバー：山本高司（関東支部幹事長）事務局：橋辺

* 成立要件：理事総数 49 名の過半数 25 名，本日の出席者 34 名で本理事会は成立。

* 議決：出席者の過半数 18 名

* 始めに書記として保柳康一理事，矢島道子理事を選出した。

* 会議に先立って宮下純夫会長から，法人運営については理事全員が等しく責任ある立場である，という内容の挨拶があった。

報告事項

1. 執行理事会報告（第 4 回-6 回議事録参照）

藤本常務理事から第 4 回から 6 回の執行理事会議事録に基づき要点の説明があった。
なお，議事録中いくつか「茨城大会」となっているのは「水戸大会」と修正する。

2. 個別の報告

1) 支部長連絡会議報告

2) 支部規則について

渡部副会長より上記 1), 2) を併せて報告された。関東支部や中部支部などは，活発に支部活動している。

- ・オブザーバー出席中の関東支部幹事長，山本氏から，支部規則の内，支部総会の成立要件の 1/20 の出席は可能と思われるということ，支部活動には実際 100 名以上が参加している，委任状も含めれば，成立は問題なさそう，また，シンポジウムと併せて開催するなどの工夫が可能，との報告がされた。

3) 広報中期計画について

広報委員長坂口理事から友の会について報告された。高校地学や大学理学部学生など若手を対象とした、インターネット上のバーチャルな組織。試験HPを開設した。国際的な広報活動について質問があり、英文のHPの作成など努力していくと坂口執行理事から返答があった。

4) 行事関係(水戸大会及び2012年以降大会の進捗状況、委員交代など)

- ・ 行事委員長, 星理事から報告があった。日本地質学会第118年の水戸大会は, 日本鉱物科学会と完全共催となり, 正式行事名は「日本地質学会第118年学術大会・日本鉱物科学会2011年年会 合同学術大会」とする。大会の予告記事は, ニュース誌4月号に掲載予定。
- ・ 水戸大会の準備委員会委員長, 天野理事から進行状況について12月号ニュース誌掲載予定の原稿をもとに報告があった。さらに, 茨城大学との共催も調整中。シンポジウムとして, 人類の危機を救う科学-地学は何が出来るのか(代表世話人: 京都造形大学教授原田氏), ジオパーク関係などを準備中。
- ・ 関東支部幹事長山本氏から, 関東地方の地下構造に関する学術シンポジウムを水戸大会で取り組みたい。これに, 関連した2つのトピックセッションを構想中。
- ・ 見学旅行については見学旅行担当安藤理事から, 10コースを用意している旨報告があった。なお, 日本鉱物科学会の会員もこの見学会に参加することになる。また, 鉱物科学会としてもこれだけコースがあれば十分であるという見解を示している。
- ・ 財政担当向山理事から, 水戸大会の共催に関わる会計計画について報告された。
- ・ 星行事委員長から2012年以降の大会計画について次のように報告された。
2012年大会は近畿支部が担当で, 大阪府立大学で開催予定。2013年は東北支部担当で, 東北大学で開催予定。
- ・ 行事委員会の議事録について報告と行事委員の交代について5専門部会選出委員の交代がある旨報告があり, 交代が承認された。
- ・ 来年度の事業確定およびそれに伴う予算案はまだできていないが, 水戸大会の準備については, 現実に即して進めることを了承していただきたいとのことであった。

3. 理事からの報告事項

- ・ 中井理事から教員免許制度の新制度について報告があった。高校教員資格として教職大学院もしくは教育学研究科修士課程修了を条件とする新制度を文科省が検討中であるとのことである。

4. その他

- 1) 藤林理事から, 2010年の地質の日事業について報告があった。また, 財政基盤であった地質ニュースの原稿料からの寄附が地質ニュース廃刊に伴ってなくなるので, 企業などからの寄附によって財政基盤を作ることを計画しているという報告があつ

た。

- 2) 高木理事から、地震火山こどもサマースクールの共催について報告された。
- 3) 向山理事から会員動向について報告された。
- 4) 地質学雑誌の編集委員の一部交代について、編集委員長小嶋理事から報告があり、交代が承認された。
- 5) 楡井理事から中・下部更新統境界模式地に関する国際プログラムなどについて報告があった。

審議事項

1. 学会における受託事業および関連事項

・藤本常務理事から学会として外部の事業委託を受けることについての説明がなされ、そのための連携事業委員会の設置とその規則案について提案された。これに関して、安藤理事から“特定会員の利益”と“法務委員会が別途定める要件”の文言に関して質問があった。また、高橋理事からは事業を実施するにあたって、公正公明性を担保するための、事業に特化した倫理綱領が必要ではないかとの意見があった。学会として現在の倫理綱領で十分ではないかとの見解も示されたが、渡部副会長から、社会に向かって倫理的な見解をはっきりさせる文章を別途用意する方向で検討する旨の応答があった。

これらの議論を踏まえて、連携事業委員会の設置が承認された。

・引き続き、設置された連携事業委員会の委員について藤本常務理事から説明、提案があり、理事会指名委員として佐々木理事、さらに委員長を渡部副会長とすることが承認された。

2. 2011年度事業計画基本方針

宮下会長から2011年度事業計画骨子について説明があった。会長の説明に対して、積極的に活動をすすめる趣旨の意見が理事から表明されたのち、この議案は承認された。

3. 学会への寄付手続き

北海道支部の竹下支部長から、専門部会、支部で寄付を受けられるような手続きの仕組みを整えられないかとの意見が出ているということについて、藤本常務理事から状況や意見などを知りたいという提案があった。これに対して、関東支部から寄付を受け取った経験などがだされ、向山理事から財務担当として説明がなされた。今後、手続きなどについて検討し、次回の理事会で具体的な提案をすることで承認された。

4. その他

1) 名誉会員推薦委員会委員の選出

- ・階層別委員 大学；佐野弘好（九州大学）、官公庁；栗本史雄（産総研）、小中高；田中義洋（学芸大学附属高校）、会社；須藤 宏（応用地質株式会社）
- ・職責委員：支部長 竹下 徹、竹谷陽二郎、伊藤谷生、原山 智、宮田隆夫、臼井

朗,

宮本隆実

・理事会から1名を選出:天野一男理事が推薦され,承認された.

2)各賞選考に関する件(次年度以降への対応ほか)

・日本地質学会各賞選考規則第13項の運用に関して,藤本常務理事から,各賞の候補者を理事会から推薦するとした場合,12月24日の推薦締め切り日までに理事会の承認手続きが間に合わないので,今年度は理事会から各賞候補者を推薦しないという提案がなされた.また,これらの規則ならびに選考委員会規則については,改正すべき点もあるので,今後検討することが提案された.以上の2点について承認された.

3)電子書籍の編集・出版・販売について

地質学会として電子出版を追求することが,広報委員長坂口理事から提案され検討することになった.

4)地質用語標準に関する地質学会の対応について

脇田理事からの提案について,藤本常務理事から説明がなされた.この提案について承認された.

5)来年度の総会開催日について

・連合大会開催期日2011年5月22日(日)~27日(金)に合わせた場合,開催候補日22日(日)18時頃.学会単独の場合21日(土)午後.いずれの日程にするかは代議員にアンケートをとって検討

6)次回の理事会4月2日(土)午後 会場 北とぴあ

以上,この議事録が正確であることを証するため,議長および出席理事は次に記名,押印する.

2011年1月8日